

携帯電話・インターネット等に関する調査について

愛媛県教育委員会では、平成30年1月に県内の小・中学生を対象にインターネットの使用状況等に関する調査を実施しました。調査結果は次のとおりです。



1 インターネット等に関する調査について

(1) 調査の目的

児童生徒の携帯電話・スマートフォン等インターネットに接続可能な機器に対する意識やその所有率、被害の状況を調査し、今後の取組を推進する。

(2) 調査の対象

公立小学校4、5、6年生児童及び公立中学校全学年生徒

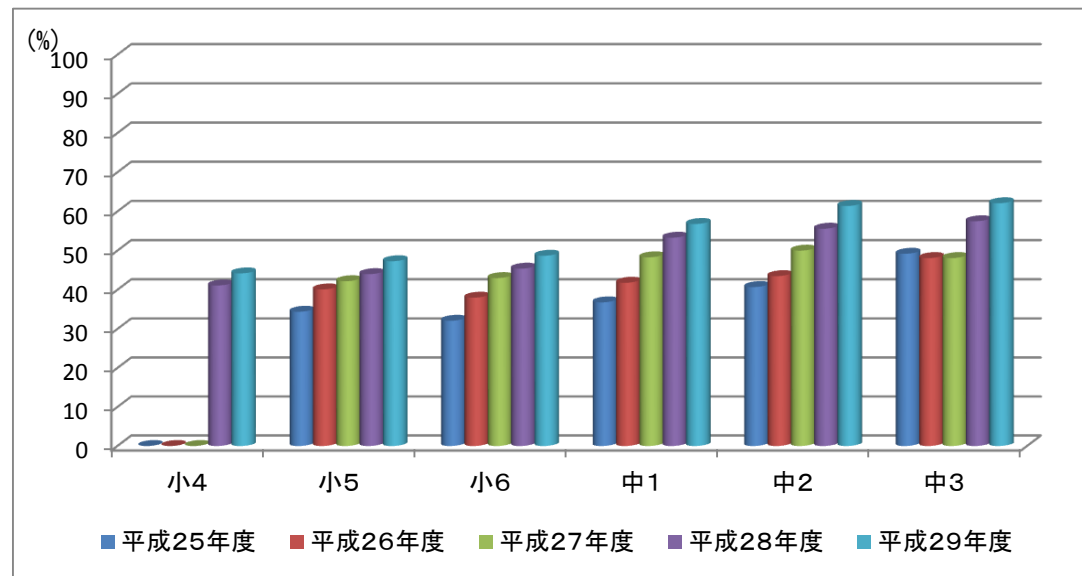
(3) 調査人数

小学4年生 11,429人 小学5年生 11,420人 小学6年生 10,985人
 中学1年生 10,210人 中学2年生 10,626人 中学3年生 10,577人

2 主な調査結果

自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合

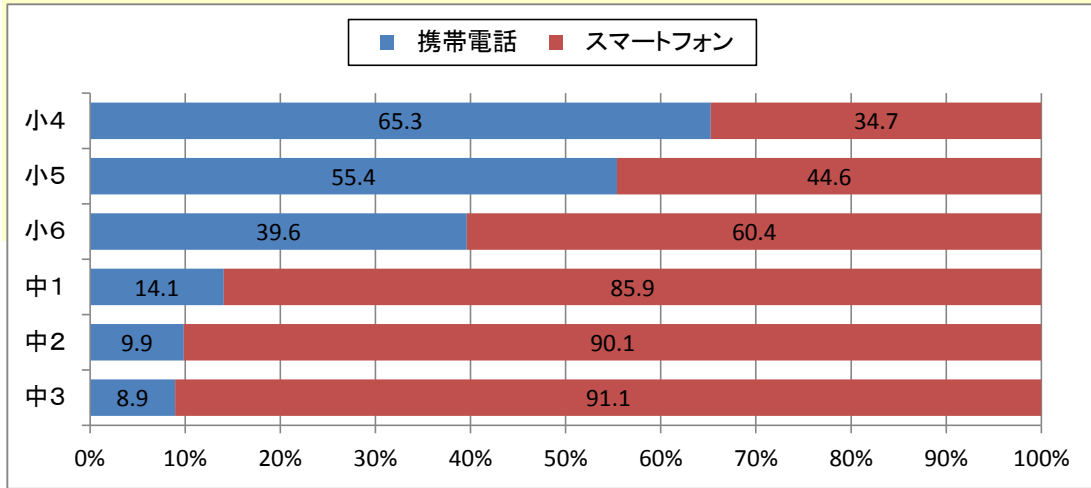
回 答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
平成29年度	44.2	47.3	48.7	56.8	61.4	62.1
平成28年度	41.1	44.0	45.4	53.3	55.6	57.5
平成27年度		42.2	43.0	48.3	50.0	52.9
平成26年度		40.1	38.0	41.8	43.5	48.1
平成25年度		34.4	32.1	36.8	40.7	49.2



「自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合」は、学年が上がるにつれ高くなる傾向があり、中学生では約半数以上の生徒が所有している。また、全ての学年において、調査開始以来、最高となった。

携帯電話とスマートフォンの所有率[対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者]

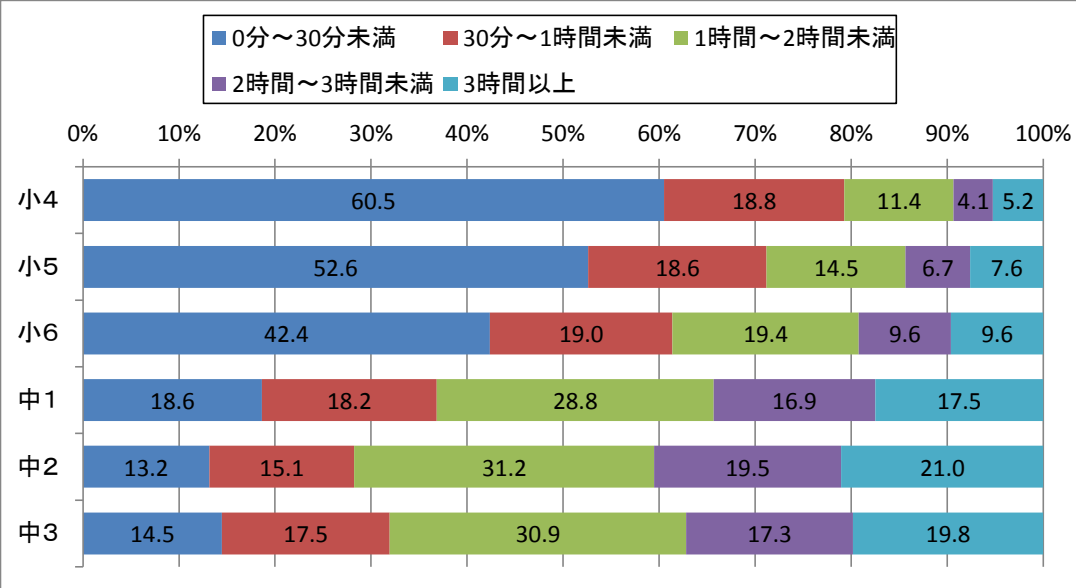
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
1携帯電話	65.3	55.4	39.6	14.1	9.9	8.9
2スマートフォン	34.7	44.6	60.4	85.9	90.1	91.1



学年が上がるにつれスマートフォンを所持する割合が高くなる。特に中学生は約9割がスマートフォンを所有している。

携帯電話・スマートフォンの使用時間[対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
0分～30分未満	60.5	52.6	42.4	18.6	13.2	14.5
30分～1時間未満	18.8	18.6	19.0	18.2	15.1	17.5
1時間～2時間未満	11.4	14.5	19.4	28.8	31.2	30.9
2時間～3時間未満	4.1	6.7	9.6	16.9	19.5	17.3
3時間以上	5.2	7.6	9.6	17.5	21.0	19.8

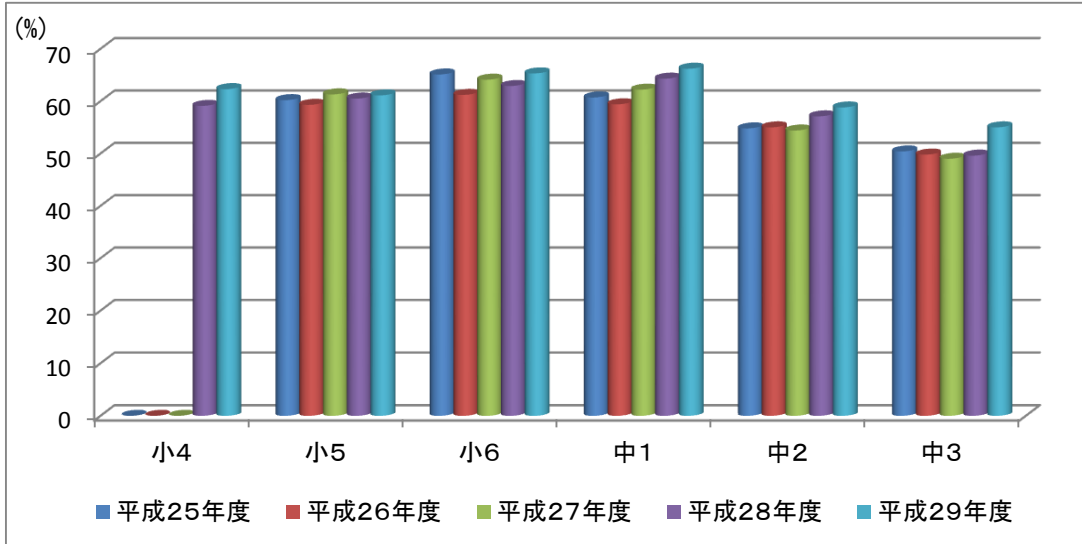


小学生は30分未満が多かったが、中学生になると、2時間以上使用している者が3割を超える。

携帯電話・スマートフォンの使い方についてルールを決めている家庭の割合とその内容〔対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者〕

ルールを決めている家庭の割合

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
平成29年度	62.3	61.1	65.3	66.2	58.8	55.0
平成28年度	59.1	60.5	62.9	64.3	57.1	49.6
平成27年度		61.3	64.1	62.2	54.4	49.0
平成26年度		59.3	61.2	59.4	55.0	49.8
平成25年度		60.2	65.1	60.7	54.8	50.4



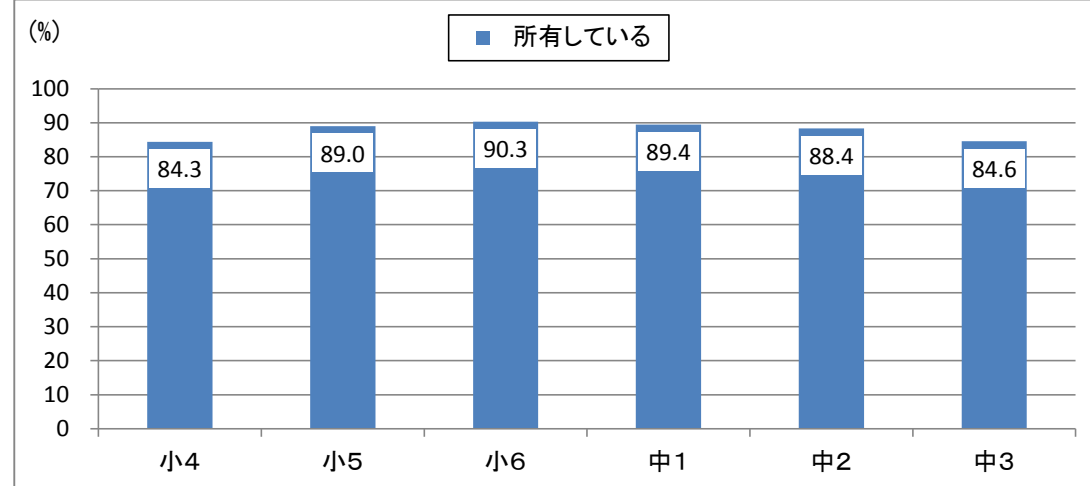
ルールの内容

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
使用する時間帯	48.5	52.7	53.4	53.4	51.9	49.6
使用する場所	33.2	36.0	36.4	31.8	31.2	27.6
使用料金	25.1	32.1	35.0	35.5	35.2	36.5
メール等の内容	38.1	39.9	45.5	45.6	40.5	37.8
学校のルールを守る	35.6	39.6	43.1	47.4	46.6	44.9
その他	13.9	11.1	9.8	8.9	6.2	5.0

「ルールを決めている家庭の割合」は、前年度と比較すると、小学生、中学生ともに増加している。しかし、中学生は学年が上がるほどルールを決めていない傾向が強い。また、その他としては「お金のかかることをしない」「人の写真は送信しない」「使用時間を決める」等のルールがあった。

携帯電話やスマートフォンを除くインターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合

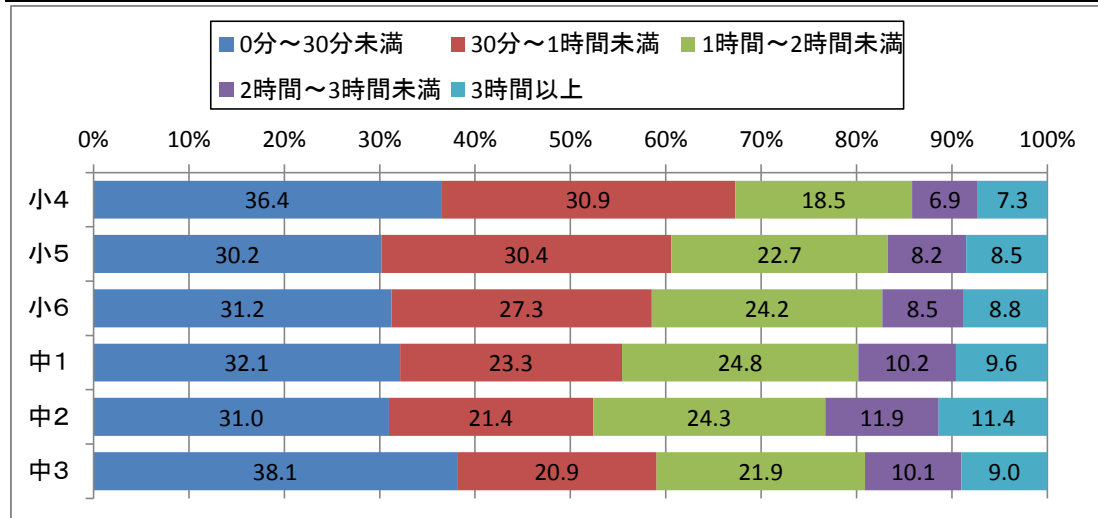
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
所有している	84.3	89.0	90.3	89.4	88.4	84.6
所有していない	15.7	11.0	9.7	10.6	11.6	15.4



「インターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合」は、全学年で80%を超えており、高い所持率となっている。携帯電話・スマートフォンの所有率と併せて考えると、ほとんどの児童生徒が自由にネットを利用できる環境にあるといえる。

1日にインターネットを利用する時間〔対象:「インターネットに接続できる機器を所有している」と答えた者〕

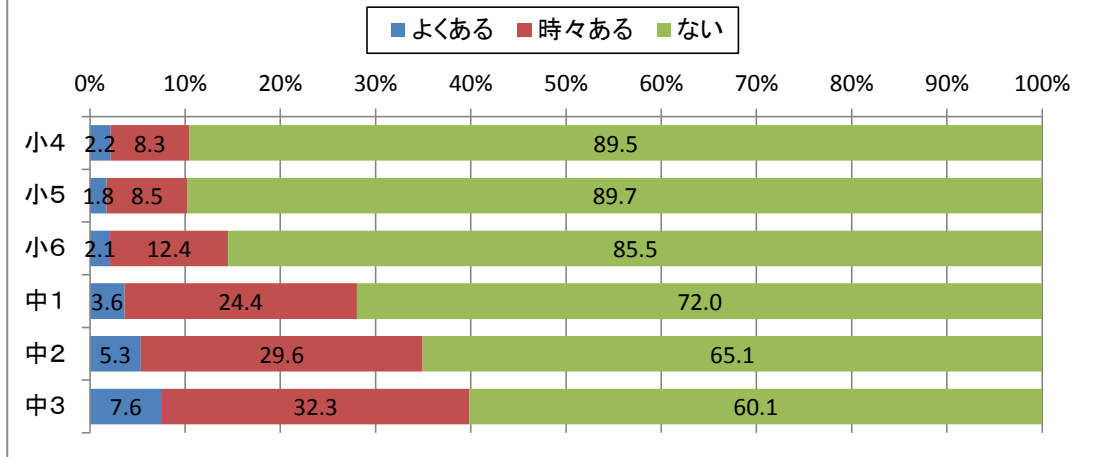
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
0分～30分未満	36.4	30.2	31.2	32.1	31.0	38.1
30分～1時間未満	30.9	30.4	27.3	23.3	21.4	20.9
1時間～2時間未満	18.5	22.7	24.2	24.8	24.3	21.9
2時間～3時間未満	6.9	8.2	8.5	10.2	11.9	10.1
3時間以上	7.3	8.5	8.8	9.6	11.4	9.0



1日にインターネットを利用する時間を見ると、使用時間が2時間を超える児童生徒が、2割程度いる。中3で30分未満が多いのは、スマートフォンの所持率の増加に伴い、ネット利用もパソコンからスマートフォンに移行したものと考えられる。

メール(ライン等を含む)やSNSに対して、返信することを負担に感じた割合[「携帯電話・スマートフォンを所有又はインターネットに接続できる機器を持つ」と答えた者]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
よくある	2.2	1.8	2.1	3.6	5.3	7.6
時々ある	8.3	8.5	12.4	24.4	29.6	32.3
ない	89.5	89.7	85.5	72.0	65.1	60.1



学年が上がるにつれ、メール等の返信に対して負担を感じる割合が高くなっている。特に、中学生になると、その傾向は強まり、中3では4割程度が負担に感じた経験がある。

携帯電話・スマートフォンやパソコンを利用するの主な被害状況[複数回答()内は前年度比]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
インターネットの掲示板やメールで悪口	1.0 (+0.2)	1.1 (+0.1)	1.6 (±0)	2.9 (+0.3)	3.5 (+0.2)	4.4 (+0.1)
自分の個人情報や写真などを無断で流された	0.4 (+0.2)	0.5 (+0.3)	0.6 (+0.2)	1.4 (+0.3)	1.9 (+0.5)	2.1 (±0)
心当たりのない利用金額の請求を受けた	0.4 (+0.1)	0.6 (±0)	0.9 (+0.1)	1.9 (+0.3)	2.7 (-0.2)	4.5 (±0)
知らない人からメールや電話があった	4.7 (+0.6)	5.6 (-0.4)	7.2 (+0.5)	10.6 (+1.2)	14.2 (+1.6)	17.3 (+1.6)
他人からしつこくメールを送られたり、つきまとわれたりした	0.9 (+0.2)	0.8 (+0.1)	1.0 (+0.2)	1.5 (±0)	2.0 (+0.2)	2.3 (+0.1)
インターネットで知り合った人と実際にあった	0.7 (+0.1)	0.6 (+0.1)	0.4 (±0)	1.0 (-0.1)	1.6 (-0.3)	2.5 (-0.3)
ラインで仲間外れにされた	0.5 (+0.2)	0.4 (+0.1)	0.6 (+0.1)	1.4 (+0.3)	1.2 (±0)	1.2 (+0.1)
特にトラブルにあったことはない	92.7 (-1.3)	91.7 (-0.2)	89.5 (-0.8)	83.6 (-1.3)	79.3 (-0.7)	74.2 (-1.5)

内容別では、「知らない人からメールや電話があった」が全ての学年で最も多く、中学生ではどの学年も増加している。また、前年度と比較して「ラインで仲間外れにされた」が中2をのぞき増えている。ネットやメールでの悪口は、小6をのぞき増加傾向にある。なお、上記以外には「ゲームの中で攻撃をされた」「LINEで自分の写真を何度も求められた」等があった。